



東京都立墨東病院

# 連携だより

発行 東京都立墨東病院 事務局医事課  
〒130-8575 東京都墨田区江東橋4-23-15  
TEL: 03-3633-6151(代表)  
<http://www.bokutoh-hp.metro.tokyo.jp>

**VOL. 60**

## 新生墨東病院 一増改修の終了と各センター機能の拡充一

日ごろ墨東病院との連携に御協力いただき心より感謝申し上げます。小生は、平成26年7月に赴任して2年7か月が経過し、ようやく墨東病院副院長の仕事にも慣れてまいりました。まだまだ未熟ですが今後ともよろしく願いたします。

毎年紹介率が上がり、平成23年度は61.8%であったものが28年度は72.0%（28年10月平均）まで上昇しております。逆紹介数も返送・他施設への逆紹介者数を含めて28年度は10月までで延べ16,712名に上ります。ひとえに先生方のご協力のおかげであり、御礼申し上げます。

平成22年より開始した墨東病院増改修は本年度末でほぼ終了し、来年度は内視鏡センターの整備を残すのみとなっております。この間26年5月に新棟が開設し、8月には救命救急センターが本格的に稼働を開始いたしました。その後「いながら改修」を次々行い、SCU、HCUの新設、ICU、CCUの分離増設、腎センターの移設増床、小児単独病棟開設等がなされました。これにより重症系ユニット病床は、救命センター24床（EICU12、LICU12）ICU8床、CCU6床、SCU6床、HCU20床となり周産期医療のMFICU9床、NICU15床、GCU30床と併せ118床に上ります。MFICUは現在改修中ですが、ハイブリッド手術室と併せ本年度中には終了する予定です。

一方、昨年2月には「高度救命救急センター」の指定を受け、本年2月に「母体救命対応総合周産期センター」（「スーパー総合周産期センター」）の内定を受けました。日ごろ区東部に発生したスーパー母体救命はすべて当院で対応していますが、これに加えて23区内で発生したスーパー母体救命は他の3施設と協働で「最後の砦」として対応することになりました。国の「地域がん診療連携拠点病院」

の指定も受ける運びとなっております。

また、昨年4月より「日帰り手術センター」を本格稼働いたしました。安全で安心な医療を確保しつつ、経済的・時間的負担を軽減することで患者さんや家族の方が笑顔になれる医療を提供していきます。手術当日に来院し、その日または翌日のうちに退院可能です。現時点においては、外科（鼠径ヘルニア、乳房腫瘍、中心静脈ポート埋設）内科（内シャント造設）皮膚科（下肢静脈瘤、腫瘍）眼科（白内障）整形外科・リウマチ科（狭窄性腱鞘炎、手根管症候群、手指骨骨折、皮下腫瘍、手指滑膜切除術）を適応としていますが今後拡大の予定です。



東京都立墨東病院 副院長  
大島 哲

区東部保健医療圏災害医療図上訓練の際にはご協力ありがとうございました。昨年11月14日の事前説明会から12月24日に予行、1月21日に本行を施行いたしました。区東部3区の医師会、歯科医師会、薬剤師会をはじめ、災害拠点病院、災害支援病院の方々、さらには、区の担当部署職員等150名を超えるプレーヤー、見学者の参加を得て、成功裏に終了することができました。心より感謝申し上げます。

墨東病院は今後も区東部の唯一の大型総合病院であり、公立病院である自負を胸に診療に当たります。3つのセンター的医療（三次救急医療、周産期医療、精神科救急医療）と、6つの重点医療（感染症医療、がん医療、難病医療、障害者歯科医療、心臓病医療、脳血管疾患医療）を中心に高度急性期医療機関として頑張ります。今後ともよろしくご指導・ご鞭撻のほどお願いいたします。

# 脳神経外科

● 脳神経外科部長  
● 花川 一郎

## はじめに

平素より、大変お世話になっております。平成 28 年 4 月に部長を拝命致しました花川一郎と申します。脳神経外科は 8 人の日本脳神経外科学会専門医と、若手医員、後期研修医たちで診療にあたっております。責任部長の井手隆文医師と私、医長の村尾昌彦医師、中村安伸医師、柳橋万隆医師の他、医員の田中健太郎医師、松本隆洋医師、堤恭介医師も脳神経外科学会専門医を取得しております。私と田中健太郎医師は日本脳神経血管内治療学会専門医でもあり、下記に述べます血管内治療も担当しています。また、神経内科および、救命センター所属の脳神経外科専門医（宝田秀憲医師、柴橋慶多医師）とも協力しながら、地域の先生方と密に連携しまして当科領域の地域医療に少しでも貢献できれば幸いと思っておりますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。今回は、当院で更新した血管撮影装置についての説明と共に、我々がやっている脳血管内治療に関連した疾患につきまして、地域の先生方との連携でお願いしたいことをご紹介しますいただきます。

## 血管撮影装置

これまで当科では 2 台のシングルプレーンの血管装置（シーメンス社）で治療を行ってまいりましたが、1 台の Image Intensifier 搭載型血管撮影装置の老朽化に伴い、昨年末にバイプレーンの FPD (Flat Panel Detector) を搭載したフィリップス社製の最新機種 Allura Clarity を導入いたしました。FPD は画像解像度が格段に高く、病変解析機能も向上するとともに、X 線利用効率のアップにより患者さんの被曝量も大幅に低減されます。

これまでより、診断検査の際の造影剤の減量や検査、手術時間の短縮にも有効になるものと考えております。



血管造影室

## 脳梗塞

脳梗塞の急性期では発症から 4.5 時間以内に施行する血栓溶解療法 (t-PA 治療) が適応になることがあり、かかりつけの先生方を介さずに、救急車で救急対応の病院へ搬送されることが多いかと存じます。発症 8 時間以内の症例における t-PA 無効の症例や t-PA 適応外の症例に対する、ステントリトリーバーを用いた急性期の血栓回収療法の有効性が証明された論文報告が一昨年より散見され、我々も

急性期の脳主幹動脈閉塞に対して積極的にこの血管内治療に取り組んでおります。院内発症の急性期脳梗塞や軽症で来院される患者さんでも、症状が進行性に悪化する場合には血管内治療が有効な症例がありますので時間にかかわらず御相談頂ければ幸いです。また、地域の先生方は脳梗塞の一次および二次予防のために、腎機能や循環器系の状態も考慮に入れながら、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症などの厳密なコントロールを基本として、抗血小板療法や、心房細動などが原因となる脳塞栓の予防のための抗凝固療法を行っておられるかと存じます。その過程で頭頸部の MRA や頸動脈エコー検査で、頸部内頸動脈などの主幹動脈の狭窄や閉塞が、判明することがあるかと存じます。当科においては主に症候性頸部内頸動脈狭窄症に対して、頸動脈内膜剥離術 (CEA) を第一選択と考え治療を行ってまいりましたが、CEA の高危険群に対しては血管内治療としてのステント留置術 (CAS) を施行しております。これまで約 10 年で 100 件以上の経験があります。50% 以上の中等度以上の狭窄度の場合に対し、治療適応を慎重に検討させていただきます。

## 脳動脈瘤

くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤ですが、脳ドック、その他で施行した頭部 MRI、MRA で判明することがあるかと存じます。これを経過観察とするか治療すべきかにつきましては、日本脳ドック学会や脳卒中ガイドライン 2015 などの基準に従いながら、脳動脈瘤のサイズや形状、患者さんのご年齢や、全身状態などから、総合的に判断させていただきますので、ぜひ、ご紹介ください。血管内治療としては、コイル塞栓術を行いますが、動脈瘤の部位や形や大きさによっては頭蓋内ステントを併用したコイル塞栓術を行います。安全性や有効性など考慮し、従来から行っている開頭クリッピングや経過観察と比較した上で、どちらが患者さんにとって適しているかを判断いたします。

## その他

今後、ハイブリッド手術室が稼働すると全身麻酔下に脳動静脈奇形や脳腫瘍などに対する塞栓術後に外科的摘出治療が可能になると考えております。

脳梗塞やくも膜下出血などの再発の予防には長期にわたる全身管理がもっとも重要です。当科の治療が一段落しましたら、末永い全身管理には地域の先生方のお力が必要です。何卒宜しくごお願いいたします。その他、引き続き、脳腫瘍、頭部外傷、その他の当科領域の疾患につきましても、どうかお気軽にご紹介いただければ幸いです。当科の連携枠で初診の外来予約は数日以内に取得が可能と思われませんが、脳神経外科疾患には迅速な治療開始が必要な場面が多々ありますので、予約外の初診もお引き受けいたします。



ハイブリッド手術室

## 紹介予約のご案内

当院の受診は救急の場合を除き、紹介予約制を原則としています。

## 緊急の場合

緊急の場合は必ずご一報下さい。

- 電話予約センター TEL:03(3633)5511(直通) 受付時間 午前8:30~午後5:00
- 診療放射線科検査予約 MRI・CT検査 TEL:03(3633)6191(FAXと兼用)  
RI検査・放射線治療 TEL:03(3633)6192(FAXと兼用)  
受付時間 午前9:00~午後5:00
- 問い合わせ先 医事課「医療連携担当」 TEL:03(3633)6151(代表)内線2115  
FAX:03(3633)7130
- 月~土 午前9:00~午後5:00  
TEL:03(3633)6151(代) 当該診療科の救急当番医師
- 夜間、休日  
TEL:03(3633)6151(代) ER担当
- 三次救急  
TEL:03(3633)6151(代表) 救命救急センター

● 診療放射線科検査予約の用紙はホームページからダウンロードできます。 墨東病院ホームページ → 医療関係者の皆様へ → 医療連携のご案内 → 検査予約のご案内